

草千里ヶ浜で火山と草原を学ぶ

6 安全な水とトイレ
を世界中に



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



プログラムのポイント

①プログラムの狙い

阿蘇に広がる雄大な草原は、千年以上もの間、阿蘇の人々が自然と上手につき合うことで守られてきました。人々のいとなみにより維持されてきた阿蘇の草原を守り、活用して行くことは、自然、歴史、文化的な観点から見て、大きな意義があります。先人の自然との関係をいま一度見つめ直し、豊かな草原環境について学びます。

②学習内容

阿蘇火山博物館のミュージアムツアーと博物館の目の前に広がる草千里ヶ浜でのフィールドワークを組み合わせ、火山と草原、人との関わりについて学びます。



プログラムの流れ

①テーマの設定

阿蘇の草原がわたしたちにもたらす恵みや、草原と人間の関わり、草原に生息する動植物を学習する。

②事前学習

ホームページや資料集などで、阿蘇の生態系、草原の歴史、および人々の生活について調べる。

③事後学習

草原を守るためのさまざまな取り組みについて調べる。また、わたしたち一人ひとりに何ができるのか考える。
(さまざまな取り組みの例:牛を増やす、草原に親しむ、野焼き・輪地切りなど)

④参考資料

阿蘇草原再生ホームページ
<http://www.aso-sougen.com/>

トピックス TOPICS

■阿蘇火山博物館ミュージアムツアー

博物館の学芸員やスタッフが、展示資料を前に、興味を引く解説を行います。

阿蘇のカルデラと草原の成り立ち、阿蘇の草原の生物の多様性や草原と人の関わりについて学習します。

■阿蘇ビジターセンター

活火山中岳、烏帽子岳、草千里、杵島岳、往生岳などを中心とした阿蘇山上の雄大な景観や動植物の自然情報、阿蘇山上で楽しめるトレッキングなどの観光情報を紹介しています。

■火山と共存する阿蘇人から学ぶ防災

自然災害のメカニズムをはじめ、地域の自然環境や、防災・減災について学習します。

阿蘇がもたらす恵恩(景観、温泉、食など)を知り、そこに住んできた人々が火山と共存しながら生活してきた知恵を現地ガイドの話を通じ、学ぶ事ができます。

受入人数~200名

料金:中学生1,000円 高校生1,200円

モデル コース

阿蘇火山博物館ミュージアムツアー(60~90分) ⇨ 阿蘇の草原学習フィールドワーク(40分) ⇨ 火山と共存する阿蘇人から学ぶ防災(90分)

実施概要

- 受入期間/通年
- 受入人数/全クラス可能
- 受入時間/9:00~17:00
- 実施場所/阿蘇火山博物館、草千里
- 講師の派遣/可能

【問い合わせ先】

公益財団法人 阿蘇火山博物館 <http://www.asomuse.jp>

TEL 0967-34-2111/FAX 0967-34-2115 〒869-2232 熊本県阿蘇市赤水1930-1